

北陸新幹線開業に商機

石川県宅建協会が総会

加賀会館も承認

石川県宅建物取引業協会は27日、ホテル日航金沢で14年度定時総会を開催した。役員改選で再任となった吉本重昭会長は、北陸新幹線の金沢開業に伴う金沢駅前などの地価上昇に期待を寄せた上で、「たくさんの方が石川に来て、まさに住みたいと思えば仕事のチャンスも出てくる」と述べ、今後より良い住環境の形成に貢献する考えを示した。

総会では経年劣化で修繕費がかさみ、利用頻度も大幅に減少している加賀地区不動産会館（小松市向本折町）の売却について承認された。価格や売却方法などは今後検討していく。

14年度事業計画では、一般消費者への不動産知識の普及を狙いに「不動産の日」ふれ愛講演会（9月23日）の開催、開業支援セミナー、清掃ボランティア活動、中古不動産流通の活性化に向けた検討などを決めた。同協会顧問で石川県議会議員の稲村建男氏らが来賓として「県民が安心して住める社会に貢献していることに敬意を表し、協会のさらなる発展を祈念する」などと祝辞を述べた。

14年度事業計画では、一般消費者への不動産知識の普及を狙いに「不動産の日」ふれ愛講演会（9月23日）の開催、開業支援セミナー、清掃ボランティア活動、中古不



今年度の事業計画を決めた総会

加賀地区不動産会館を売却へ

石川県宅建取引業協会

石川県宅建物取引業協会の総会は27日、金沢市のホテル日航金沢で開かれ、県加賀地区不動産会館（小松市）を売却する方針を決めた。処分方法は今後、検討する。

売却により、修繕費や固定資産税、光熱費など年間約150万円の固定費削減を見込む。役員改選では吉本重昭会長を再任した。任期は2年。

永年会員の表彰も行われた。新任理事は次の各氏。

垣内健一、小林綱代、浦智晴、山岸弘明、峪謙一郎、東正博、橋富雄、吉村伸成